

気賀っ子応援団

～気賀小コミュニティ・スクールだより～ 第2号 令和3年3月

気賀っ子応援団への登録、ありがとうございました！



本年度より、気賀小学校でもコミュニティ・スクールがはじまりました。学校・家庭・地域が一つになり、子供の豊かな学びと育ちを創造するための取り組みを行っていきます。

今年度、コロナ禍で活動が制限される中にもかかわらず、ボランティアの皆様のご協力を得て、いくつかの学校支援を行うことができました。ご協力頂きました皆様、気賀っ子応援団へご登録頂きました皆様、本当にありがとうございました。

引き続き、気賀小では気賀っ子応援団を募集しております。ぜひ皆様もご参加お願い致します。

学校支援コーディネーター 小田木真砂子・藤田嘉代

11月 パンジーの苗の植え替え



子供たちが一人一鉢栽培するためのパンジーの苗を、大きめのポッドに植え替えました。

もっと大きく育てて、次は子供たちの鉢にきれいな花が咲きますように。

合計約600本の苗を7人のボランティアの方とPTA有志とで植え替えました。

1月 5年生：調理実習支援



ご飯を鍋で炊く方法を知り、炊き立てのご飯を味わいました。

味噌だけの汁とだし汁を飲み比べ、だしのおいしさやみそ汁にだしが入っている良さに気がきました。

ボランティアの方には、ご飯の火加減を見て頂いたり、だしの取り方を実演して頂きました。

2月 4年生：総合（習字）



総合学習の一環で、キャリアパスポートに入れる自分の好きな字を習字で書きました。一人一人に先生がお手本を書いてくださり、書き方のポイントを教えて頂きながら、難しい字もがんばって練習しました。思い出に残るすてきな作品になりました★

2月 校庭花壇の植え替え



今まで使われていなかった校庭の花壇に、新しい土を入れ替え、季節の花を咲かせることにしました。土入れは子供たちもお手伝いし、そこにボランティアの方々に何種類もの花を植えて頂きました。地域と学校がつながった、美しい花壇になりました。

無理せず 欲張らず じっくりと

「はままつ人づくり未来プラン」に基づき、今年度から導入したコミュニティ・スクール（CS）でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、年度初めの約一か月半が臨時休校になったことで、出だしからつまづく形となってしまいました。なぜなら、臨時休校の影響で、保護者や地域の方々とのコミュニケーションの機会（PTA総会、参観会、懇談会、気賀の子を育てる会等）を持てなかったために、今年度の大きな目標の一つであった、地域や保護者の皆さんにCSを知っていただくことが、十分にできなかったと思うからです。



しかし、6月以降、新しい生活様式を徹底しながら学校生活を再開する中で、年間4回の学校運営協議会を開催し、目指すCSの方向性や学校が抱える課題等について、委員の皆さんで熟議を重ねていただきました。2学期後半からは、授業支援や環境整備を中心に活動がスタートし、徐々に軌道に乗ってきたように思います。その中で、大切だと感じたのは、活動内容を具体的に提示することと、委員さんからの口コミによる『気賀っ子応援団』への参加依頼でした。つまり、活動のねらいや内容が分かって、知っている人から誘われれば、「学校のためなら、子供たちのためなら、やってあげるよ。」という方がたくさんいらっしゃるということが分かったのです。参加してくださった方からは、「楽しかったから、また今度も声を掛けてくださいね。」といった言葉も聞かれ、大変うれしく思いました。やはり、CSを支えていくものは、心の絆だと感じました。また、それを引き出してくれた学校支援コーディネーターの積極的な取り組みがあったこともお伝えします。

来年度以降も、「無理せず 欲張らず じっくりと」を合言葉に、できることから少しずつ実現させ、CSの基盤がより強固なものになればと願っています。『気賀っ子応援団』に気軽に御参加ください。お待ちしております。

気賀小学校校長 安藤憲